

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 7月25日 更新

事務事業名		人権フェスティバル開催事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	大高和弘
	施策	23	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	曾我陽子
	基本事業	75	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	啓発教育班	(内線)	2513
予算科目		会計一般	款3	項1	目8	事業連番11511	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑫	
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合併前に、旧合志では「合志町人権フェスティバル」、旧西合志町では「人権フェスティバルin西合志」として開催していた。合併後も、合志市人権フェスティバルとして平成18年度から毎年開催。(平成21年度は、インフルエンザ流行のため中止)平成21年4月に、人権フェスティバル実行委員会設置要綱、会計規程を制定し、一般会計から会計処理ができるようにした。人権フェスティバル実行委員会委員を組織している。(26名・任期2年間)
【業務の流れ】	人権フェスティバル実行委員会委員を選任する。同実行委員会(小委員会)会議の開催、運営、人権フェスティバルの開催(会場設営、職員の業務要員としての配置事務、プログラム作成、講演者依頼、必要物品の購入)、展示ギャラリーでの人権作品展示
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	人権週間(12月4日～10日)にあわせて開催しているが、会場が寒い、時期をずらせないかとの意見がある。音響の心配をすることがない文化会館での開催を、実行委員会に提案したが、「客席が足りない」、「子どもの部、大人の部の2日間に分けて行なうよりも、同じ時に子どもから大人まで一同に会することに意味がある」との意見があり、メインアリーナでの開催となった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) 第8回合志市人権フェスティバルを12月7日(土)の午前中に開催した。 子羊保育園・南ヶ丘小学校の発表。 講演は露の新治(つゆのしんじ)さん。 演題:「新ちゃんのお笑い人権高座〜笑顔でくらす、願いに生きる〜」 開催会場 合志市総合センターヴィーブル メインアリーナ		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 第9回合志市人権フェスティバルを12月6日(土)の午前中に開催予定。 開催会場 合志市総合センターヴィーブル メインアリーナ	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア 人権フェスティバル参加者数	人	印刷製本費(封筒印刷)の減	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民、小中学生、PTA、教職員、幼稚園・保育園園児、保護者、職員、市内従業者	人	→ア 合志市人口	人
	人	→イ 市内従業者数(市民含む)	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりを目指す。	%	→ア 人権フェスティバルに参加して、アンケートに「よかった」と回答した割合	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト	
人権フェスティバルに参加してもらい、市民の人権意識を高めることは、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりにつながる。		全体計画 ～年度	
		0	

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込		
① 活動指標	人	人	1,155	1,177	1,200	1,230	1,200	1,200	1,200	1,200		
② 対象指標	人	人	56,638	57,367	57,377	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429		
	人	人	18,361	17,521	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000		
③ 成果指標	%	%	100	100	100	100	100	100	100	100		
	人	人										
投資 入費 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円	605	448	665	728	665	400	400	400
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	245	127	257	207	475	475	475	
		(A) 事業費計	千円	850	575	922	728	872	875	875	875	
			(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
				千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	55	31	55	30	55	55	55	55	
			延べ業務時間	時間	1,089	886	1,089	784	1,089	1,089	1,089	1,089
			(B)人件費計	千円	4,397	3,606	4,433	3,123	4,433	4,433	4,433	4,433
	トータルコスト(A)+(B)		千円	5,247	4,181	5,355	3,851	5,305	5,308	5,308	5,308	

事務事業名	人権フェスティバル開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎年、多くの市民、小中学生、各種団体より参加があり、アンケートを見ても大変よかったとの意見が多く見られる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 参加者が来年もまた参加したくなるような内容にしていかなければならない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減すると、内容が少なくなり啓発が充実しなくなる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務の内容的にも委託等にするより職員で事務をした方が経費が少なくて済むため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 人権フェスティバルは市民が対象であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託等にするより、職員で事務をした方が効率的で経費が少なくて済む。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

内容については、充実した人権フェスティバルを開催することができたが、音響等の面で改善すべき点がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

より多くの市民の参加につながる事業内容を検討する。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

寒い時期の開催でもあり、時間短縮につながる進行方法等の検討を行なっている。